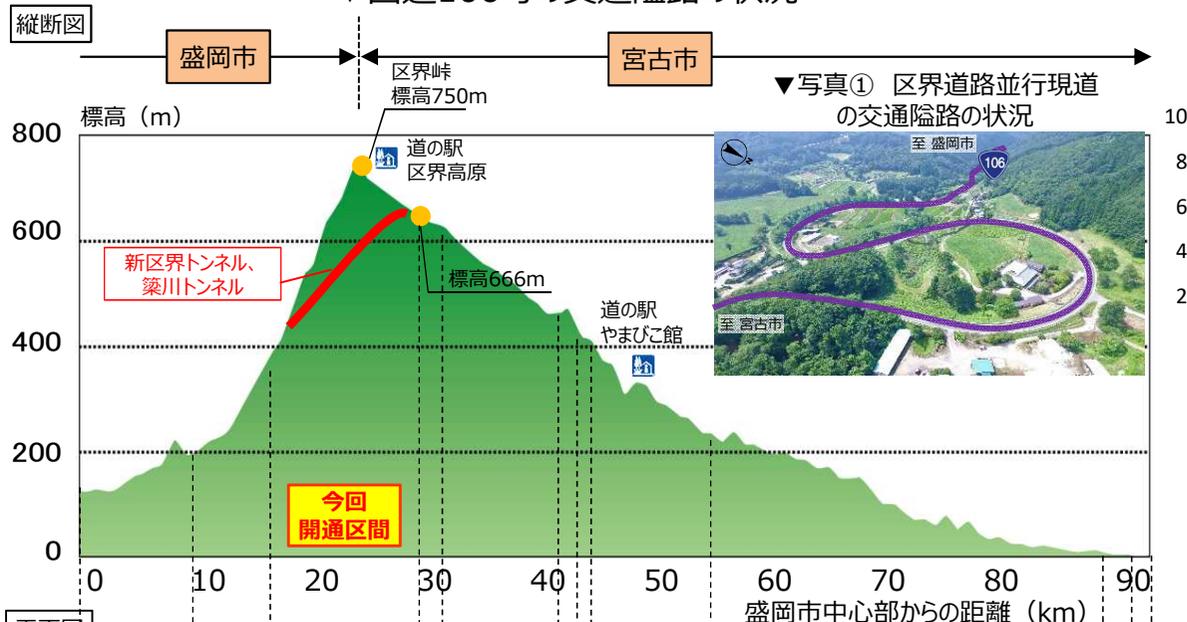


安全・安心な走行を支援

- ◆ 並行する区界峠は国道106号の中で急カーブ・急勾配が最も多く、冬期には重大事故の危険性が高いなど、最大の難所となっている。
- ◆ 国道106号沿線地域の救急搬送では約9割の管外搬送先が盛岡市を占めており、盛岡市と宮古市を結ぶ重要な路線となっている。
- ◆ 今回の開通により、並行現道区間の急カーブ・急勾配箇所を回避し、迅速かつ安定した救急医療活動を支援。

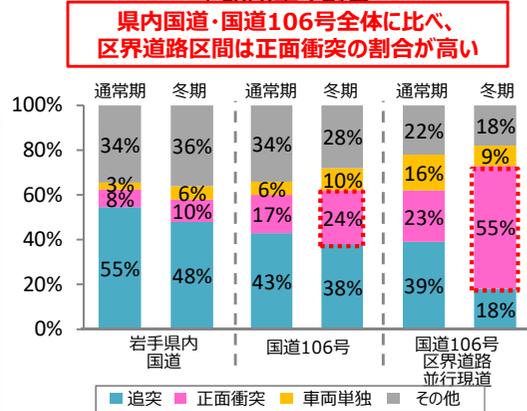
▼国道106号の交通隘路の状況



▼写真① 区界道路並行現道の交通隘路の状況



▼岩手県内国道及び国道106号の事故類型の割合



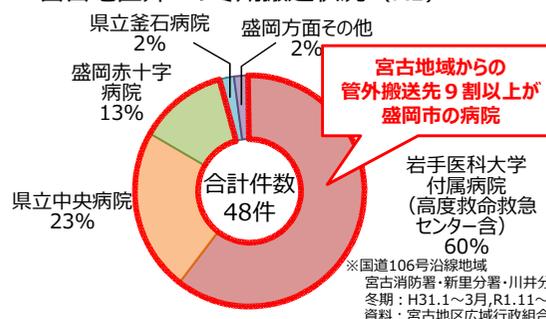
▼冬期の視程障害の状況



▼国道106号を走行する救急車



▼宮古市内国道106号沿線地域の宮古地区外への冬期搬送状況 (R1)



▼道路整備による所要時間の短縮効果



《病院・消防の声》

- ・今回開通区間の整備により、岩手医科大学付属病院等へのアクセス性・走行性が向上することで、迅速で安定した救急活動が期待できます。
- ・冬期の区界峠はより注意した搬送となるため、安定走行が求められます。
(R2.9 宮古地区広域行政組合宮古消防署 川井分署 ヒアリング結果)
- ・開通によって、時間短縮による迅速な救急医療の実施を期待しています。
- ・特に冬期は慎重な運転となるため、運転手のストレス軽減が期待できます。
(R2.9 岩手医科大学付属病院【高度救命救急センター】ヒアリング結果)



※急カーブ・急勾配は、設計速度60km/hにおける限界値を超えている箇所・区間を計数
急カーブ：R<150m 急勾配：I>5.0%

今回開通区間
急カーブ箇所数：21箇所 ⇒ 0箇所
急勾配箇所数：7箇所 ⇒ 0箇所